

## 第63回東北地区高等専門学校体育大会 テニス競技 競技要項

1. 主催 東北地区高等専門学校体育連盟
2. 競技開催校 鶴岡工業高等専門学校
3. 共催 鶴岡市、鶴岡市教育委員会
4. 後援 特定非営利活動法人鶴岡市スポーツ協会、山形県テニス協会
5. 大会日程 令和8年7月3日（金）～7月5日（日）
6. 競技日程 令和8年7月4日（土）～7月5日（日）
7. 大会会場 小真木原テニスコート（山形県鶴岡市小真木原町 2-1）
8. 競技人員 (1) 団体戦  
1校1チーム、監督1名、コーチ1名、マネージャー1名  
【男子】選手4名以上6名以内  
【女子】選手4名以上6名以内
9. 競技規則 (2) 個人戦 シングルス3名以内、ダブルス2組以内とする。  
(1) 日本テニス協会「テニスルールブック 2026」による。  
(2) 使用球は、ダンロップフォートとする。
10. 競技方法 (1) 団体戦  
【男子】  
[ア] トーナメント戦とする。出場チームが3チームの場合のみリーグ戦を行う。  
[イ] 3位決定戦を行う。  
[ウ] 2シングルス（S1・S2）、1ダブルス（D）の3ポイント制とし、1セットマッチ6－6後、7ポイントタイブレークとする。  
試合順序は、D、S1、S2とする。ただし、同時進行もある。  
同一選手がダブルス、シングルスに重複して出場することはできない。  
登録選手は順位をつけて提出し、シングルスの出場順位はこの順位に従うものとする。登録選手は実力順に書くこと。  
[エ] 雨天の場合は、ノーアドバンテージルールで1セットマッチ6－6の後、7ポイントタイブレークとする。  
【女子】  
[ア] トーナメント戦とする。出場チームが3チームの場合のみリーグ戦を行う。  
[イ] 2シングルス（S1・S2）、1ダブルス（D）の3ポイント制としノーアドバンテージルールで1セットマッチ6－6の後、7ポイントタイブレークとする。ただし、出場チームが2チームの場合は、全ての試合を1セットマッチ6－6後、7ポイントタイブレークで行う。  
試合順序は、D、S1、S2とする。ただし、同時進行もある。  
[ウ] 同一選手がダブルス、シングルスに重複して出場することはできない。  
登録選手は、順位をつけて提出し、シングルスの出場順位はこの順位に従うものとする。登録選手は実力順に書くこと。  
[エ] リーグ戦における順位は、次の順序に従って決定する。  
優先順位1：完了試合数の多いチームを上位とする。  
優先順位2：勝率の高いチームを上位とする。  
優先順位3：2チームが同率になった場合は、お互いの対戦結果（直接対決）の勝者  
優先順位4：3チームが同率になった場合は、以下の要素で順位をつける。  
(1) 総勝利試合数の多いチームが勝利  
(2) (1) が同じ場合、全試合での取得セット率が高いチームが上位  
(3) (2) が同じ場合、全試合での取得ゲーム率が高いチームが上位

※全チームの順位を決定し、残り2チームが同率の場合に限り、優先順位3で決定する。

優先順位5：上記優先順位1から4によって順位が確定できない場合は、抽選によって順位を決定する。

(2) 個人戦

[ア] トーナメント方式とし、1セットマッチ6-6後7ポイントタイブレークとする。

[イ] 3位決定戦は行わない。

[ウ] 雨天の場合、(1) [エ] に準ずる。

[エ] 選手の登録順位は、団体戦の登録順位に準ずる。

11. 参加申込

(1) 申込期限 令和8年6月5日(金)【必着とする】

(2) 申込先 〒997-8511 山形県鶴岡市井岡字沢田104

鶴岡工業高等専門学校学生課内 東北地区高等専門学校体育大会  
テニス競技実行委員会事務局

TEL 0235-25-9027 FAX 0235-25-8195

12. 組合せ抽選

(1) 団体戦

競技実行委員会において、令和8年6月12日(金)に競技開催校の体育主任及び学生(学務)課の立会いで、競技開催校の学生が抽選を行う。

(2) 個人戦

シードを行う。参加申込後、抽選会を行い、その枠に従って各校が選手名を記入して競技開催校に提出する。

13. 代表者会議

(1) 日時 令和8年7月3日(金) 15:30~

(2) 会場 つるしんアリーナ小真木原(小真木原総合体育館) 会食室

14. 開閉会式

(1) 開会式 代表者会議後、準備でき次第

(2) 閉会式 競技終了後

ただし、感染防止対策のため、代表者会議、開閉会式とも簡略化し実施することもあり得る。

15. その他

(1) 個人戦について、前年度ベスト4に入った者にシード権を与える。ただし、ダブルスは前年度と同一組とする。

(2) 雨天等のため競技が中断するなどして競技運営が所定の時間に終了できない場合は、2日目の夕方まで延長できる。それでも終了不可能な時は競技を中止し、全国大会出場権については協議により決定する。

(3) 競技が所定の時刻より遅延した場合は、試合間の休息時間は、一切設けないことがある。

(4) 服装はテニスウェアを着用のこと。(ロゴマークに注意すること)